

3 公共施設マネジメントロードマップ

市では、公共施設マネジメントの着実な推進を図るため、各公共施設におけるロードマップを作成しています。ロードマップは、公共施設再配置計画に基づいて進めていく工程を示したもので、施設ごとに方針を定めており、毎年見直しを行っています。各施設所管課はこのロードマップと年度当初に公共施設マネジメント戦略会議からの施設ごとの取組指示に基づき、施設のあり方などの検討を進めています。ロードマップについては、市HPでも公開していますので、ぜひご覧ください。

公共施設マネジメントロードマップ (2020年度版)

分類	No.	対象施設	所管課	I期適正配置方針	I期(前期)方針				
					2017	2018	2019	2020	2021
市民センター	1	高道祖市民センター	公民館	維持		当面継続(あり方検討⑩)	⇒	【当面継続(あり方検討⑩)】 施設は当面継続し、10年間(⑩)で施設のあり方を検討する方針	
	2	上妻市民センター	公民館	維持		当面継続(あり方検討⑩)	⇒		
	3	豊加美市民センター	公民館	複合化		当面継続(複合化検討⑩)	⇒		
	4	藤波ノ江市民センター	公民館	維持		当面継続(あり方検討⑩)	⇒		
集会施設	5	下妻公民館	公民館	複合化		複合化の検討③	⇒	あり方検討	
	6	大宝公民館	公民館	維持		当面継続(あり方検討⑩)	⇒		
	7	千代川公民館	公民館	維持		長寿命化検討③ 長寿命化改修	⇒	長寿命化改修実施	当面継続
	8	働く婦人の家	商工観光課	複合化		当面継続(複合化検討⑩)	⇒	【長寿命化改修検討③】 施設を長く使うための改修(長寿命化改修)を3年間(③)で検討する方針	
	9	勤労青少年ホーム	商工観光課	集約化・複合化		当面継続	⇒		
	10	高道祖本田東集会所	生涯学習課	維持		当面継続	⇒		

※I期(前期・後期)方針の中で、丸括弧の数字は検討期間(年数)を表します
※赤字部分は昨年度のロードマップから変更となったものを表します

4 下妻版公共施設マネジメントの年間サイクル

市では、公共施設マネジメント推進の年間サイクルを作成し、マネジメントの組織体制を活用しながら、事業の優先付けやロードマップの見直しを行っています。毎年、このサイクルを回すことで、公共施設マネジメントを継続的に推進しています。

下妻版公共施設マネジメント年間サイクル

組織	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公共施設マネジメント戦略会議	新年度取組事項指示							予算優先付け決定				ロードマップ決定
公共施設マネジメント推進委員会	取組事項検討指示							予算優先付け(案)検討				ロードマップ(案)検討
施設所管課	指示事項に基づく検討開始					次年度事業調査	次年度事業ヒアリング				進捗確認ヒアリング	
公共施設マネジメント部門	建物の劣化調査を実施し、劣化度評価を行います。 ★この評価が、予算の優先付けの判断材料になります。		施設の劣化調査			次年度事業調査依頼	次年度事業予算優先付け(案)作成				ロードマップ(案)作成	
議会	ロードマップ報告	前年度の戦略会議で決定したロードマップの報告を行っています。							進捗確認ヒアリングをもとに、次年度のロードマップを作成します。			

市の公共施設マネジメントは、このような推進体制のもと着実に実行しており、徐々に成果が表れてきています。引き続き、取組を進めるとともに、市民の皆さんにも公共施設の問題に関心を持っていただくよう、随時情報を発信していきます。ぜひ将来の下妻市のことを一緒に考えていきましょう!

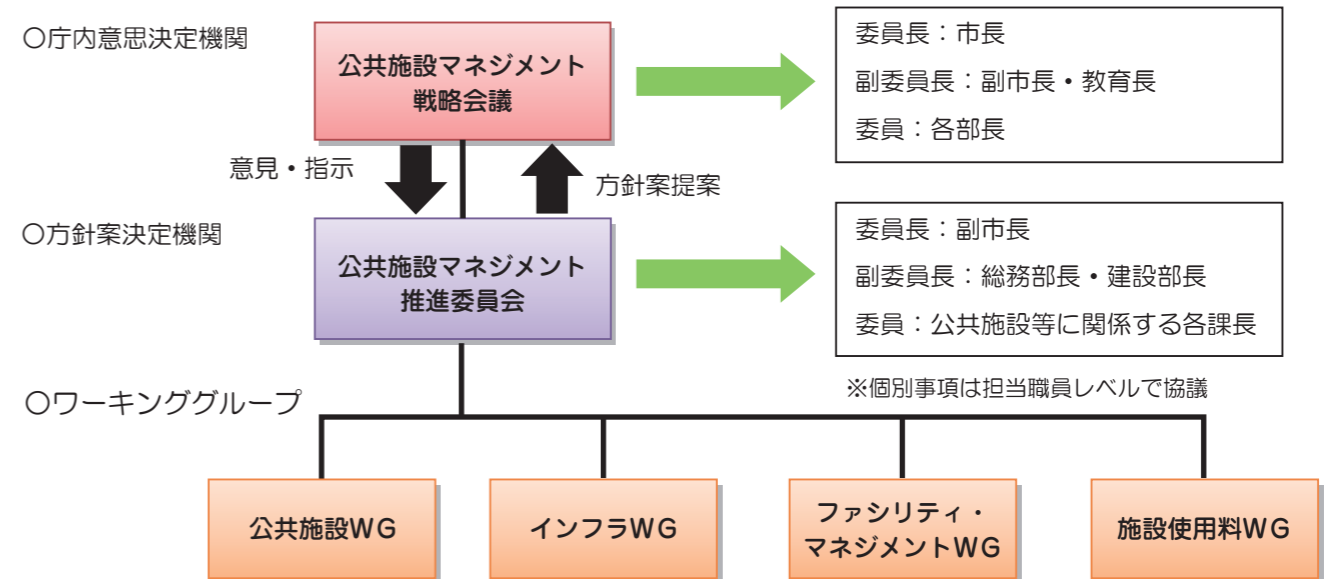
下妻市の公共施設についてお知らせします 公共施設マネジメント通信 vol.6

公共施設マネジメント通信vol.5では、「下妻市公共施設長期保全計画」と建物の劣化調査についてお知らせしました。vol.6では、市の公共施設マネジメントの推進体制についてお知らせします。

問 財政課 ☎43-2235 FAX 43-4214

1 全庁的な取組体制

これまで、公共施設の管理運営は所管課ごとに行ってききましたが、市の公共施設の「全体最適化」を図るために、現在は、以下のとおり全庁的な取組体制を構築しています。公共施設マネジメント推進委員会は、方針案決定機関であり、施設のあり方などの方針案について検討し、公共施設マネジメント戦略会議に提案します。公共施設マネジメント推進委員会から提案があった方針案について、庁内の意思決定機関である公共施設マネジメント戦略会議で検討を行い、最終的な方針が決定されます。また、公共施設マネジメント戦略会議から公共施設マネジメント推進委員会へ意見・指示を出すこともできます。



2 公共施設にかかる事業の予算優先付け

公共施設の老朽化に伴い、施設に係る修繕・工事などは毎年行われていますが、市では、公共施設マネジメントの観点から、施設の重要度、施設ごとの方針および施設の劣化度評価などを総合的に判断し、次年度に予定している修繕・工事などの事業について、**予算の優先付け**を行う取り組みを始めています。予算の優先付けは最終的に公共施設マネジメント戦略会議で決定され、その結果は財政部門での全体予算編成時の判断材料として活用しています。

事業の予算優先付けの流れ

